

白糠養護が第1回学校公開

主体性引き出す活動展開

中学部では選挙投票の練習も

【釧路発】白糠養護学校（菅原康之校長）は八日、同校で三十年度第一回学校公開を実施した。小学部・中学部・高等部の授業を公開。各クラスで児童生徒の主体性を引き出す活動を展開し、中学部では選挙投票の練習を楽しみながら行った。

道社会福祉事業団白糠学園に併設する同校。肢体不自由児一人ひとりの実態を把握し、それぞれの目標を設定した教育を推進してい

る。本年度の研究テーマは「主体的・対話的で深い

17日に大人が
楽しむおはなし会

旭川おはなしの会

【旭川発】旭川おはなし

の会は、十七日午前十一時三十分から旭川市中央図書館で「おはなしの森 春の大人が楽しむおはなし会」を開く。同会の語り手が「おいの値段」「小さなこげ

学び」の授業づくり、子供の主体性を引き出し、展開できる授業をめざして。

当日は小学部・中学部・高等部全クラスの授業を公開した。中学部一・三年生の生活単元学習「選挙をし

た顔」などの作品を素語りする。参加は無料。

『博物館だより』
第108号を発行

北方民族博物館

【網走発】北方民族博物館は「北方民族博物館だより」第百八号を発行した。昨年十二月に行われた口ヒョ展「サハの伝説と普話



中学部では選挙の
投票について学ん
だ

やりたいと思うゲームを投票用紙に書き、選挙管理員会から借りてきた本物の投票箱に入れた。

最後に投票の結果、選ばれたスリッパカーリングのゲームを楽しんだ。

よう」では、児童生徒会役員に立候補する友達を応援する気持ちを育むとともに、自分のやりたいことを選び、伝える力を育てることをねらった。

最初に「スリッパカーリング党」と「ボウリング党」の党首として教員が各ゲームの魅力を演説。次いで、生徒は教員と相談しながら

小学部では車いすを使わずに校舎の周りを歩く自立活動を行い、高等部の作業学習では、布の小物入れトレイ、ボタンなどを作製。作業日誌に目標を書いたあと、針を使って丁寧に作業していた。

第二回学校公開は九月十三日を予定している。